

第1学年 国語科学習指導案

1. 単元名 おはなしをよんでじんぶつの大すきをしょうかいしよう
教材名 中核教材 「おとうとねずみ チロ」(東京書籍 1年下)
補助教材 物語絵本

2. 設定した言語活動とその特徴

本単元では、「C 読むこと」の言語活動例「オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。」に対応する言語活動として、「お話を読んで人物の好きなところを紹介する」という活動を位置づける。物語を読んで好きな登場人物を「大すきカード」に書いておはなしバックにため、その作品を友達に紹介するという活動である。子どもたちが選んだ「大すき」を交流し合うことで、大好きを見つけるためには、「したこと」と「会話」の二つの視点に気を付けて読むことの大切さを学ばせ、自分の「大すき」を友だちに紹介するという言語活動につなげていきたい。

3. 単元について

児童観

本教材は、おばあちゃんからのチョコキを楽しみに待つ、おとうとねずみチロの行動や気持ちを中心に書かれた物語である。時や場所の変化による場面の展開も分かりやすく、チロの行動もとらえやすい。また、チロの行動や会話には、気持ちの変化が素直に表れているので、様子を想像しながら読むことができる教材である。

指導に当たっては、第一次で、気に入ったお話の「本の題名」「好きな登場人物」「すきなところ」をカードに書いて入れる「おはなしバッグ」を紹介する。また、「大すきカード」を提示し、学習のゴールの姿を具体的な姿としてイメージさせ、好きな人物のどんなところが好きなのか、友だちに紹介するという明確な目的意識をもたせる。さらに、並行読書ができる環境整備として、登場人物の行動や会話文がわかりやすい物語絵本を用意する。第二次では、中核教材に登場する人物の好きなところを交流し合う。自分の好きなところを見つけるためには、その人物の行動や会話を手がかりにするとよいことを「おとうとねずみチロ」で学習し、「大すき」を見つける視点を明確にとらえさせたい。その際、チロの「したこと」と「会話」が見通せるようにするために、全文を掲示する。

そして、ペア学習を取り入れながら、自分の思いを言葉で表現する場を設定していく。第三次では、絵本を読み進め、その物語の登場人物の好きなどを「大すきカード」に書いて発表し合う。友達が発表した「大すきカード」の本に興味をもち、自らその本に手を伸ばす時間も設定して、意欲付けを図りたい。終末には「大すきカード」をまとめて、「おはなし大すきブック」を作り、今後の読書の幅が広がるようにしていきたい。

単元を通じて「人物の好きなところを紹介する」という言語活動を設定し、本単元の指導事項を確実に身に付けることができるよう工夫しています。また、透明なクリアファイルに持ち手を付けた自分専用の「おはなしバッグ」を持つことで、自ら様々な絵本を手に取り、進んで「大すきカード」にまとめる等、児童の主体的な学びにつなげることができました。言語活動の充実のためには、単元の指導事項に適した言語活動の設定や、児童の実態に基づいた教材・教具の工夫や環境設定が重要です。

4. 単元の目標

- 登場人物の好きなところを紹介するために、登場人物の行動や様子に着目して想像を広げながら読むことができる。 (C 読むこと (1) ウ)
- 登場人物の好きなところを友達に紹介するために、いろいろな物語を選んで読むことができる。 (C 読むこと (1) カ)

5. 単元の評価規準

国語への関心 ・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・選んだ作品の登場人物に対する思いが伝わるように、本の楽しさを共有しながら紹介しようとしている。	・人物がしたことを思い浮かべ、そのときの様子や気持ちを考えながら読んでいる。 C(1)ウ ・物語を読んで、登場人物の行動や会話に着目して登場人物の好きなところをまとめている。 C(1)エ ・いろいろな本を読み、友達に紹介するための本を選んでいる。 C(1)カ	・感想を伝える言葉には、様々なものがあることを知り、感想を書く際に用いている。 伝国 (1) イ (ウ)

6. 単元の指導計画 (全9時間 本時4/9)

次	時	主な学習活動	評価規準と評価方法
一	1	・教師による読み聞かせを聞き、感想を交流する。	(言) 感想を伝える言葉には、様々なものがあることに気付いている。(ノート) (関) いろいろな物語を読んで、好きな人物を紹介する活動に意欲的に取り組んでいる。(発言)
	2	・「おとうとねずみチロ」を読んで、登場人物の大好きを伝えるための計画を立てる。	
二	3	「おとうとねずみチロ」で「自分で見つける方法」を学ぶ。 ・挿絵を手がかりに物語の大体をつ	(読) 物語を読み、あらすじをとらえている。(発言)

並
行
読
書



	4 本 時 5	かむ。 ・チロがどんなことをしているところが好きかを発表し合う。 ・チロの好きなところをカードに書いてまとめ、紹介する。	並 行 読 書	(読) 人物がしたことを思い浮かべ、そのときの様子や気持ちを考えながら読んでいく。(発言・ワークシート) (読) 物語を読んで、登場人物の行動や会話に着目して登場人物の好きなところをまとめている。(ノート・発言)
三	6 7 8 9	読んだお話をもとに「大すきカード」を書く。 ・読んだお話の中から、大好きカードを書くための本を選ぶ。 ・「大すきカード」を書いて友達に紹介する。		(読) いろいろな本を読み、友達に紹介するための本を選んでいる。(カード) (読) 物語を読んで、登場人物の行動や会話に着目して登場人物の好きなところをまとめている。(カード) (関) 選んだ作品の登場人物に対する思いが伝わるように、本の楽しさを共有しながら紹介しようとしている。(ノート・発言) (言) 感想を伝える言葉には、様々なものがあることを知り、感想を書く際に用いている。(カード)

7. 本時の目標

(1) 目標

- ・行動や会話に着目してチロの気持ちを想像しながら読むことができる。(読 C(1)ウ)

(2) 目指す児童の姿

- ・教科書を読んで、チロのどんなところが好きか、あらすじをもとに見つけようとしている。
- ・なぜ、そこが好きなのか、チロの行動や会話から気持ちを想像しながら理由を発表している。

(3) 指導過程

学習活動	主な発問と指示	指導上の留意点 (・) と評価 (□)
1. 単元の言語活動と本時のめあてを確認する。	・大すきカードを書いて、友だちに教えるために、「おとうとねずみチロ」を読んで、「大すき」をうまく伝えるにはどうすればよいか勉強しましょう。	・三次の学習を意識できるよう、本時の学習でどのようなことを学ばばよいか確認する。
おとうとねずみチロを読んで、「大すき」を伝え合おう。		

10の視点①

単元全体における本時の位置付けを確認することで、児童が本時の学びへの必然性をもつことができます。また、「自分だけの大きを見つける」という課題は、教師が与えた場面ごとの詳細な読み取りではなく、児童が目的意識をもって教材文全体を何度も通読する、主体的な読みにつながります。

2. 「おとうとねずみチロ」
を読んで、学習する。

(1) あらすじを確認する。

(2) 音読をする。

(3) 「大きい」を伝えるために文章のどこに着目すればよいのかを確認する。

・みんなが選んだところはどこかをわかりやすくするために、あらすじを確認しましょう。

・自分の好きなところをしっかりと口を開けて音読をしましょう。
・口の形に気を付けて、しっかり声に出して読みましょう。

・お話の中で好きなところはどこですか。
・みんなが発表してくれたことを分けると、ピンクと黄緑に分けられます。これは、何に当たるでしょう。

・前時にまとめたあらすじと全文掲示を使って、誰が何をしたのかを全体で確認する。

・自分が選んだ好きなところをしっかりと声に出して読むように伝える。
・なかなか音読ができない児童は、指でおさえながら一緒に読む。

・「したこと」と「会話」が視覚的に分かりやすいよう、会話文をピンクの短冊、行動文を黄緑の短冊に書く。

【改善】

登場人物の行動や会話に着目すればよいことを、教師が一方的に教えるのではなく、児童が自ら気付くことができるよう、展開や教材・教具を工夫した。

(3) お話の中で誰が好きで、どんなところが好きかを見つけてワークシートに書く。

(4) 「自分が見つけた登場人物の好きなところ」を発表する。

・「したこと」と「会話」から自分の大きを見つける、ワークシートに書きましょう。

・誰の、どんなところが好きかを発表しましょう。

・選んだ理由を書くときには掲示してある「思ったことを伝える時の言葉」を使うよう助言する。

・ワークシートに書けない場合は、教科書に線を引いてもよいことを助言する。

・友達の考えとの相異を児童自身が分かるように、選んだ言葉や文を全文掲示で確認する。

10の視点⑥

「読むこと」における学び合いでは、ある特定の正解を見つけることがゴールではありません。「なぜ自分はそのように読んだのか」を、1年生なりの言葉で説明することで、児童が互いの解釈の違いを認め合ったり、多様な読み方があることに気付いたりすることが重要です。

・選んだ理由を明確にするために、登場人物の「したこと」や「会話」を読んで感じことや、その時の登場人物のことをどう思ったのかを発表し合う。

<p>3. 振り返りをする。</p>	<p>・今読んでいる本も、「したこと」「会話」に気を付けて読んでいきましょう。</p>	<p>【改善】 カードに書いた「好きなところ」（登場人物の会話・行動）だけを発表するのではなく、叙述を読んで「感じたことや登場人物への思い」も発表し合うことで、個々の読みを全員で共有するとともに、多様な読みがあることに気付くことができるようにした。</p> <p>□物語を読んで、登場人物の行動や会話に着目して登場人物の好きなところをまとめている。(読) (発言・ワークシート)</p> <p>・「自分が見つけた登場人物のすきなところ」を伝えるには、会話と行動に気を付けて読むことが大切であることを確認し、並行読書を読む時に生かすよう伝える。</p>
--------------------	---	--